

2023(令和5)年8月28日

京都府城陽市長
奥田 敏晴 様

特定非営利活動法人
市民共同発電をひろげる城陽の会
代表 古家野 辰也



2023年度 城陽市の脱炭素社会に関するお尋ねと要望

日頃から省エネ・温暖化防止・再生可能エネルギー普及に向けての取り組みを展開され2021年には、2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロ(ゼロカーボンシティ)を宣言され、この度は広く市民からパブリックコメントを募集のうえ「城陽市地球温暖化対策実行計画」が作成されたことに敬意を表します。

さて、今年も脱炭素社会にむけての「お尋ねと要望」を提出させていただきます。

昨年同様、円安やロシアのウクライナへの武力侵攻による人権と食料・エネルギー危機は暮らしと産業にとって大きな課題となっています。とりわけエネルギー分野では地球温暖化防止は待たなしの状況となっているにもかかわらず、石油・石炭・天然ガスの増産が叫ばれている事態になっているのは由々しき事態と言わざるを得ません。さらに一部では電気代の高騰を機に電力危機をあり、福島原発事故を忘れたかのように再稼働を要望する事態まで見受けられます。私たちは今こそ、再生可能エネルギーによる発電へと大きく舵を切るチャンスだと考えています。エネルギーの地産・地消で電力危機を乗り越えるばかりでなく、雇用の創出・地域おこし、まちづくりが出来るとの思いを強くしている次第です。

今回の「計画」やゼロカーボンシティ宣言が温暖化防止に向けての再エネ・省エネなどの取り組みの新たなスタートとなるよう切に要望します。

お忙しい折とは存じますが、9月末までにご回答いただきますようお願いいたします。

記

1. 温暖化防止のためのCO₂削減目標の到達についてお尋ねします。
 - 1) 昨年度の総CO₂排出量についてお知らせ下さい。現時点では不明な場合、判明する時期などをお知らせ下さい。
 - 2) 2019年度(令和元年度)はCO₂27.9万t-co₂の排出量であり、2013年度(平成25年度)のCO₂37.6万t-co₂から25.3%減少。2022年度(令和4年度)目標は2013年度比9%削減の目標を大きく超えた削減でした。これらを踏まえ、一昨年カーボンゼロシティ宣言を契機として2030年度(令和12年度)46%削減、2050年度(令和32年度)54%削減、カーボンゼロシティの実現めざし、計画数値目標とそれに見合った方向性や具体的な諸対策を検討して下さい。また、「ゼロ宣言」を踏まえた2050年までのロードマップをお示し下さい。今回の「実行計画」が市政運営の中心的な柱となるようすべての部局などへ周知徹底と施策・予算の配分をお願いします。
2. 城陽市でのSDGsの取り組みについて昨年度のご回答では「SDGsのために個別具体的な取り組みは実施していませんが、常に施策の企画立案から実行に至るまでSDGsの理念を意識し、取り組みをすすめることとしています。」とされています。昨年度の実績と今年度の取り組みや予算措置について具体的な事例があればお知らせ下さい。
3. 昨年度のご回答では再エネ比率について「現時点で公表できる数値はありません」とされています。

した。その後、調達電力における再生可能エネルギーの比率が分かるようになりましたでしょうか、わかるようであればお知らせ下さい。また、市が購入する電力についてさしあたり、再エネ比率30%以上、そして速やかに再エネ比率100%を達成して下さい。

4. 温暖化防止に向けての具体的な施策についてお尋ねします。

市庁舎、小中学校、幼稚園・保育園などや水道事業、その他市管理・使用施設の省エネ化・再生可能エネルギー設備、蓄電池導入等についてお尋ねします。

1) 次の施設で昨年一年間に使用した電力・ガス・石油・水道について使用量と金額及購入先・再エネ比率をそれぞれお知らせ下さい。

- ・市庁舎
- ・古川・久津川・久世・寺田西・寺田・寺田南・深谷・今池・富野・青谷の各小学校
- ・北城陽・東城陽・西城陽・城陽・南城陽の各中学校
- ・富野幼稚園
- ・鴻ノ巣・青谷・久津川・久世・今池の各保育園
- ・環境衛生センター
- ・給食センター
- ・上下水道部
- ・消防署本署
- ・消防署久津川消防分署
- ・消防署青谷消防分署
- ・ぱれっとJOYO
- ・北部・東部・寺田・南部・今池・青谷の各コミュニティセンター
- ・保健センター
- ・鴻巣会館
- ・老人福祉センター陽寿苑
- ・老人福祉センター陽和苑
- ・老人福祉センター陽東苑
- ・老人福祉センター陽幸苑
- ・ふたば園
- ・子育て支援センターひなたぼっこ
- ・街灯

2) 照明のLED化や地中熱利用など省エネ機器・設備の設置、太陽光や風力発電など再生可能エネルギーでの発電設備、蓄電池の導入についての計画はありますか、お知らせ下さい。

3) 昨年市が管理・使用している東部デイサービスセンター始め13施設に太陽光発電設備・大洋集熱器・蓄電池が設置(いずれか一つも含む)されていることをご回答頂きました。これらの施設についてその後変更がありましたらお教え下さい。

また、設置されていない施設については再生可能エネルギー施設と蓄電池のセットでの速やかな設備の設置を要望します。

- ・古川・久津川・久世・寺田西・寺田・寺田南・深谷・今池・青谷の各小学校
- ・北城陽・東城陽・西城陽・城陽・南城陽の各中学校
- ・富野幼稚園
- ・鴻ノ巣・青谷・久世の各保育園
- ・環境衛生センター
- ・上下水道部

- ・消防署久津川消防分署
- ・ぱれっとJOYO
- ・北部・寺田・今池・青谷の各コミュニティセンター
- ・保健センター
- ・鴻巣会館
- ・老人福祉センター陽東苑
- ・老人福祉センター陽幸苑
- ・ふたば園

- 4) 消防署本署及び青谷分署に設置された10kWの太陽光発電システムの運用状況について昨年度の実績をお知らせ下さい。
 - 5) 防犯灯(街灯)については昨年度のご回答では「令和3年9月時点で、8,255灯あり、そのうち7,064灯(約85.6%)をLED化しています。・・・水銀灯は7灯、ナトリウム灯は3灯のLED化を実施しており、残水銀灯は256灯、残ナトリウム灯735灯となっています。」とのことでした。その後の取り組みをお知らせ下さい。また、それらのLED化の年次計画をお持ちであればお知らせ下さい。
 - 7) 温暖化防止対策の一環として『地球温暖化対策の推進に関する法律』に基づき公表されている『電気事業者ごとの排出係数』を『入札参加資格条件』として設定し、この条件下における入札契約を実施しました。」と回答をいただきました。この取り組みについて、その概要と昨年度における入札実施件数とその結果についてお知らせ下さい。
 - 8) 雨水タンク補助制度について「令和3年度の実績につきましては、7件217,000円」とご回答を頂いています。昨年度の実績についてお知らせください。また、補助制度について引き続き市民に広く知らせてください。なお、補助額の引き上げや補助率の引上げ等もご検討ください。また、京都府への要望の結果についてもお知らせ下さい。
 - 9) 城陽市の緑被率については市全域63.5%(2013年4月改訂版)他の回答をいただきました。近年、新名神工事やそれに伴う丘陵地開発(アウトレットや物流施設など)の開発が進み、保安林の縮小も見られます。緑被率は低下しているのではないかと思います。失われた植樹地を上まわる植林等を実施して回復するようにして下さい。最新の緑被率を市全域及び都市計画区域、調整区域のそれぞれでお知らせ下さい。
 - 10) 電気・ガスなどエネルギー価格が高騰しています。市としてどのような対応をされておられるのかお知らせ下さい。また、市民生活への対策も併せてお知らせ下さい。
5. 2021年11月にカーボンゼロシティを宣言され、広報紙等でその取り組みを紹介されていることに励まされています。それに加え、再エネ100宣言RE Actionへの参加や世界気候エネルギー首長誓約に署名を要望します。
- 1) 再エネ100宣言RE Actionは、企業、自治体、教育機関、医療機関等の団体が使用電力を100%再生可能エネルギーに転換する意思と行動を示し、再エネ100%利用を促進する新たな枠組みです。2019年10月に設立され、昨年10月現在、企業や自治体、教育機関など286の団体が宣言しています。京都府下では福知山市が宣言をされています。この「宣言」はいろいろな団体が参加することができます。ぜひ、市内の企業や団体にも参加の呼びかけをして下さい。
「宣言」を添付しますので参考にして下さい。

2) 世界気候エネルギー首長誓約は、気候変動対策に取り組み、持続可能でレジリエントな地域づくりを目指すとともに、パリ協定の目標達成に貢献しようとする自治体の首長が誓約する国際的な仕組みです。(「世界首長誓約/日本」は、日本における傘下組織です。) 亀岡市は、2022年12月26日に同誓約に署名、与謝野町や京都市も署名しています。世界では138の国の1万を超える自治体が署名されています。温暖化防止に向けて積極的な展開を期待しますので、ゼロカーボンシティ宣言から一歩踏み出す意思を表明し、より実効性のある温暖化対策を実施して下さい。

「誓約書」を添付しますので参考にして下さい。

6. 個別具体的な施策の要望事項

「実行計画」を踏まえ具体的な施策を展開されることと存じますので、是非ともこれまで本会が要望してまいりました事項を取り入れて頂きますようお願いいたします。

とりわけ次の事項は重要な取り組みとなると思われますので積極的にご検討下さい。

1) 再生可能エネルギーの普及を促進するために

- ・再生可能エネルギーの普及を促進すると共に、資金の域内循環による豊かな城陽づくりに資する地域新電力会社を設立して下さい。
- ・公用車やさんさんバスは電気自動車にして下さい。
- ・市内企業の社有車などを電気自動車とするように呼びかけを強めて下さい。
- ・農家とのコラボレーション、ソーラーシェアリングの取り組みを強化して下さい。
- ・京都府の0円ソーラープラットフォームの取り組みなど、再生可能エネルギー支援制度の周知徹底を一層強めて下さい。

2) 省エネ・ネガワットの取り組みをすすめるために

- ・省エネの取り組み強化 白熱電球とLED電球の無料交換会などを実施して下さい。
- ・学校給食などに地域の農産物を使用する等、地産地消をすすめて下さい。
- ・市内スーパーなどに地元産の農産物を購入できるコーナーなどの設置を働き掛けて下さい。

3) みどり豊かな城陽のまちづくりをすすめるために

- ・グリーンシティ城陽を宣言して下さい。
- ・新市街地や新名神沿線の開発地に植林・植樹をすすめ、緑被率を高める取り組みを更にすすめて下さい。
- ・高齢化に伴い、生け垣維持が困難となっています。補助制度など街なかの緑を保全する取り組みを強めて下さい。

添付参考資料

再エネ100宣言RE Action参加申込書

世界気候エネルギー首長誓約

再エネ 100 宣言 RE Action 参加申込書

参加団体規約および参加費規定をご一読いただき、ご同意のうえでお申し込みください。【規約類ダウンロード】

申請日 年 月 日

団体名		ふりがな	
担当部署		ホームページアドレス	
責任者	役職	担当者	役職
	ふりがな		ふりがな
	氏名		氏名
所在地	ふりがな		
	〒		
担当者 E-mail			担当者 TEL

※上記の担当者情報を脱炭素コンソーシアムに登録します。担当者 E-mail が代表アドレスとなる場合は、個人アドレスを併記してください。

団体情報

従業員数/職員数	
売上/予算規模	
主な事業内容	
会員該当	<input type="checkbox"/> GPN <input type="checkbox"/> イクレイ日本 <input type="checkbox"/> JCLP <input type="checkbox"/> JNCCA <input type="checkbox"/> IGES 左記団体に加盟している場合はチェックを入れてください。

宣言内容・確認事項

- ◆ 全消費電力量（他の参加団体との合計値のみ、再エネ 100 宣言 RE Action ウェブサイト等に公開いたします。）
 - ・「 kWh （ 年度）」（必須：前年度の数値を記入してください。）
- ◆ 再エネ電力割合（再エネ 100 宣言 RE Action ウェブサイト等に公開し、毎年、進捗報告内容にて更新します。）
 - ・「 % （ 年度）」（任意：上記電力量に対する再エネ電力割合です。わかる範囲でご記入ください。）
- ◆ 再エネ 100%に向けての目標設定（再エネ 100 宣言 RE Action ウェブサイト等に掲載いたします。）
 - ・再エネ 100%達成目標年：「 年」（必須：既に達成済みの場合は、達成年を記入してください。）
 （ 1 年以内に設定予定の場合はチェックボックスにチェックを入れてください。）
 - ・中間目標：「 年 %」「 年 %」「 年 %」（任意）
- ◆ 以下についてご確認ください（必須）。チェックが入らない項目が一つ以上ある場合はご参加いただけません。
 - RE100 の対象となる企業（年間消費電力量が 50GWh 以上等）ではありません
 - 法人の場合は、連結対象のグループ全体での参加です
 - 主な収入源（売上 50% 以上）が、再エネ発電所の開発または管理、電力の販売、または再エネのコンサルティングなど、エネルギー、電力関連事業から収益の大部分を生み出す事業ではありません
 - 反社会勢力と関わりがある組織ではありません
 - 再エネ 100 宣言 RE Action の趣旨に賛同し、参加団体規約（参加要件：再エネ目標設定・毎年の進捗報告・再エネ拡大に向けた政策提言などへの積極的な参加など）を確認、同意のうえ本活動に参加します
 - 行政（省庁・都道府県・市町村）のウェブサイトにも本活動の参加団体として掲載されることがあります
 - RE Action と JCLP メンバーが参加する脱炭素コンソーシアム（情報交換サイト）にユーザー登録します（解除可能）

参加費（年額） 該当する区分にチェックを入れてください。

紙の参加費請求書を希望する

※参加費請求書は PDF で送付しています。紙の請求書をご希望の場合はチェックを入れてください。

種別	区分	年額	選択
【企業】	10 人以下	25,000 円	<input type="checkbox"/>
	11 人以上 300 人以下	50,000 円	<input type="checkbox"/>
	301 人以上 500 人以下	75,000 円	<input type="checkbox"/>
	501 人以上 1,000 人以下	100,000 円	<input type="checkbox"/>
	1,001 人以上 または 投資法人	200,000 円	<input type="checkbox"/>
【行政】	中央省庁・都道府県・政令指定都市	100,000 円	<input type="checkbox"/>
	上記以外の行政機関	50,000 円	<input type="checkbox"/>
【非営利団体】 (学校法人、社会福祉法人、 医療法人、消費生活共同組合 など)	10 人以下	25,000 円	<input type="checkbox"/>
	11 人以上 300 人以下	50,000 円	<input type="checkbox"/>
	301 人以上 500 人以下	75,000 円	<input type="checkbox"/>
	501 人以上	100,000 円	<input type="checkbox"/>

※イクレイ日本、GPN、JCLP、IGES、JNCCA の会員は参加費が割引になります。団体情報の会員該否に必ず記入してください。

アンケート 以下、回答にご協力ください。

Q 1. 参加の理由、再エネ 100 宣言 RE Action に期待することをご記入ください。今後の活動の参考にいたします。(必須)

<参加理由>
<期待すること>

Q 2. どのような経緯で再エネ 100 宣言 RE Action をお知りになりましたか？きっかけをおしえてください。(必須、複数選択可)

- 講演会・展示会（主催者・会合名： _____)
- 知人／自治体からの紹介（紹介者： _____)
- インターネット（検索のきっかけ： _____)
- 新聞・テレビ・雑誌等（媒体名： _____)
- その他（ _____)

Q 3 現在、購入されている電力の主な契約区分（任意、複数選択可）

- 特別高圧 高圧 B 高圧業務用（500KW 以上） 高圧 A 高圧業務用（50KW 以上）
- 低圧電力 電灯
- その他

--

Q 4. 現在の主な電力購入価格帯（任意、複数回答可）

- 8～11 円 12～15 円 16～19 円 20～22 円
- その他

--

Q 5. ご参加の意気込みやメッセージをご記入ください。(任意)

再エネ 100%達成目標年と併せてウェブサイトに掲載させていただきます。掲載を希望しない場合は下記にチェックを入れてください。 <input type="checkbox"/> コメントのウェブサイト掲載を希望しません。

ありがとうございました。本申込書と貴団体のロゴデータ（ウェブ掲載用）を reaction@saiene.jp までお送りください。

Ver.2022.03

世界首長誓約/日本 誓約書

[自治体名]、日本

[自治体名]長 [首長氏名] は、世界気候エネルギー首長誓約のメンバーである「世界首長誓約/日本」の誓約書に署名し、持続可能でレジリエント（強靱）な地域づくりを目指すとともに、パリ協定の目標達成に貢献します。

1. 以下の事項を誓約します。

- ① 持続可能なエネルギー（エネルギーの地産地消など）を推進します。
- ② 2030年の温室効果ガス排出量は国の削減目標以上の削減を目指します。
- ③ 気候変動の影響などに適応し、レジリエント（強靱）な地域づくりを目指します。

2. 誓約後2年以内に、誓約事項①②③に関する目標、温室効果ガス排出量な

どの状況、具体的な目標達成方策などに関する「気候エネルギー行動計画」を策定・報告し、これに取り組みます。

3. 2年ごとに、同行動計画の進捗状況を報告します。

Covenant of Mayors for Climate and Energy Japan
Commitment of

[Name of City/Town/Village], Japan

I, [Name of the Mayor], [Name of City/Town/Village], commit to the Covenant of Mayors for Climate & Energy Japan which is a local chapter of the Global Covenant of Mayors for Climate & Energy, and endeavor to create a sustainable and resilient future while contributing to the achievement of the Paris Agreement objectives.

1. To ensure this commitment, I pledge the followings:

- (i) Promote sustainable energy (e.g., local production and consumption of energy)
- (ii) Endeavor to reduce greenhouse gas emissions by 2030 exceeding Japan's NDC (Nationally Determined Contribution)
- (iii) Prepare and adapt for the impacts of climate change and build up a climate and disaster resilient region

2. Within two years after the commitment, I prepare and submit a Climate and Energy Action Plan which contains the



Covenant of Mayors
for Climate & Energy JAPAN
世界首長誓約 / 日本



GLOBAL COVENANT
of MAYORS for
CLIMATE & ENERGY

- targets to realize the above pledges, a municipal scale greenhouse gas emission inventory and concrete policy measures to achieve the targets, and thereafter I takes actions according to the Plan.
3. Every two years, I submit a progress report of the Plan.

[自治体名] [Name of City/Town/Village]

〒[郵便番号] [住所]

[Complete postal address of the local government] Japan

[Website of local government (URL)]

[自治体のロゴマーク]

自 署

[誓約した年月日] [自治体名]長 [首長 氏名]

[Mayor of City/Town/Village], [Name of the Mayor]

[Date, Month, Year]